

2021/10/15(金)

「専門高校フューチャープロジェクト」活動中！～ハウスは冬仕様へ～

一度目の収穫を終え、断熱パターンを冬仕様に変更し、2度目の播種をおこないました。

気温も下がってきたので、断熱やヒートパイプの効果に期待します。

色々な検証を行い、寒地無加温栽培を成功させたいです。



2021/10/14(木)

「専門高校フューチャープロジェクト」活動中！

～ほうれん草 収穫しました！～

ほうれん草を収穫しました。クラスのみんなで試食会もしました。

“すごく甘くて、とりたての食感が良かった”と感想を話していました。



2021/10/13(水)

「専門高校フューチャープロジェクト」活動中！先端技術講義

～現場見学会に参加しました～

2年土木科の生徒が札幌建設業協会様のご協力で現場見学会に参加しました。

伊藤組様のご協力で島根川左岸南の里地区築堤工事、田中組様のご協力で道央圏連絡道路の見学を行いました。

GNSS、トータルステーション、ドローン、情報化施工、VR、AR と最新の土木技術を見学・体験することができました。また、本校卒業生の技術者より講話もいただきました。

生徒達は“建設業へのイメージがかわった” “こんなに進化しているのだ” “先輩からの話を聞いて就職へ向けての不安が解消した” と感想を話していました。



2021/10/11(月)

「専門高校フューチャープロジェクト」活動中！

～ほうれん草 収穫時期をむかえました！～

ほうれん草が収穫の時期となりました。

断熱畑の方が、成長が早く、断熱とヒートパイプの効果が出ている様です。



2021/9/22(水)

「専門高校フューチャープロジェクト」活動中！～ほうれん草 元気です！～

播種から約2週間たち、間引きを行いました。

断熱畑の方が、成長が早いようです。断熱やヒートパイプの効果でしょうか。



2021/9/14(火)

「専門高校フューチャープロジェクト」活動中！

～ハウスをスマート化しています～

ハウスをスマート化しています。ICT・IOT 技術を活用し、ハウスのスマートを進めます。

温度・湿度・照度・紫外線・Co2・飽差・PF等の観測を行い、ハウスの温度・湿度の調節や散水等の自動制御や遠隔制御を行う予定です。写真はリモートカメラから撮影したものです。



2021/9/7(火)

「専門高校フューチャープロジェクト」活動中！ ヒートパイプ設置しました

今年は昨年の実証実験のデータを基にヒートパイプを新開発しました。

設置方法も改善し、実用化を目指します。実証実験を行い、性能を確認していきます。

寒くなるのが楽しみです。また、断熱畑と無断熱畑をつくり、播種しました。



2021/8/26(木)

「専門高校フューチャープロジェクト」活動中！ ～ハウス建てました～

遠隔監視・制御実験用ハウス建てました。今後、監視・制御システムを設置していきます。



2021/8/20(金)

「専門高校フューチャープロジェクト」活動中！

～企業とのコラボレーションチャレンジ「土木工事と環境保全」について～

1年土木科の生徒が琴似発寒川において、土木工事と環境保全について学習しました。

近年、異常気象など平年から大きくかけ離れた天候により社会的に大きな影響をもたらしており、札幌市も例外ではありません。土木工事の中でも河川工事は生態系、環境に与える影響が大きい
ため、工事の際は環境保全に配慮しなければなりません。

北海道技術コンサルタント様の技術士の方や本校卒業生、札幌市豊平川さけ科学館のご協力を得て、生態系や河畔林の調査を行い、生態系の保護や河川設計時からの河畔林の変化等についてご指導をいただき、生徒達は環境保全の大切さと土木工事との関わりについて深く理解することができました。



2021/8/18(水)

「専門高校フューチャープロジェクト」活動中！

セルフブランディングプログラム～インターンシップについて～

2年土木科が、札幌新卒応援ハローワーク様のご協力で「インターンシップについて」ご指導をいただきました。生徒達はインターンシップの時期が近くなり、働くことの心構え・基本マナー・安全教育等を理解し、意識を高めることが出来、有意義なインターンシップとなる準備が整いました。



2021/7/20(火)

「専門高校フューチャープロジェクト」活動中！ ～企業とのコラボレーションチャレンジ「元町会館前広場活用プロジェクト」試験施工しました～

企業とのコラボレーションチャレンジである、「元町会館前広場活用プロジェクト」が今年度も活動を進めています。

先月、公益社団法人 日本技術士会北海道本部 社会活動委員会 技術者のミライ研究委員会の技術士の方より、子どもから高齢者まで多世代の人々が集い、楽しみ、愛着がもてる「みんなの広場」作りのため、全体計画及び設計・施工に関わる技術のご指導をいただきました。

本日はご指導いただいた内容を基に測量・設計・計画したものの、一部を試験的に施工しました。

今後は10月の本格的な施工を目指し、技術士会にご指導をいただきながら、地域の方と一緒にによりよい広場づくりを目指します。



2021/7/18(日)

「専門高校フューチャープロジェクト」活動中！

～実践的な資格取得に取り組みました～

3年土木科の生徒がキャタピラー教習所北海道教習センターのご協力で小型車両系建設機械の特別教育を受講し、実践的な資格取得に取り組みました。



2021/7/15(木)

「専門高校フューチャープロジェクト」活動中！ ～企業とのコラボレーション
 チャレンジ～琴似発寒川で生物が滞留できる河床整備について～

3年土木科の生徒が、企業とのコラボレーションチャレンジである「河畔林と生態系の関連性が治水に及ぼす影響」の研究を進めています。本日は琴似発寒川において、河川管理者である北海道空知総合振興局 札幌建設管理部様と北海道技術コンサルタント様にご指導をいただきながら、治水と環境保全を両立した生物滞留空間の形成に取り組みました。生徒達は疑問点や今後の継続調査方法について活発に質問し探求を深めていました。



2021/6/17(木)

「専門高校フューチャープロジェクト」活動中！ ～企業とのコラボレーション
 チャレンジ～河畔林と生態系の関連性が治水に及ぼす影響～

3年土木科の生徒が、企業とのコラボレーションチャレンジである「河畔林と生態系の関連性が治水に及ぼす影響」の研究が始まりました。本日は琴似発寒川において、河畔林の状態や河床の状況・生物の生息区域などの調査をしました。昨年に引き続き、今年度も北海道技術コンサルタント様の技術士の方や本校卒業生2名より、講義や調査方法等を丁寧にご指導いただいています。生徒達は疑問点や今後の継続調査方法について活発に質問し探求を深めていました。



2021/5/31(月)

「専門高校フューチャープロジェクト」活動中！ ～第1回専門高校

NEXT人材育成協議会・第1回指定校連絡調整会議 開催しました～

「令和3年度 第1回専門高校NEXT人材育成協議会」「令和3年度 第1回指定校連絡調整会議」がオンラインで開催され、本校の代表として3年土木科の3名が令和3年度研究計画について発表しました。委員の方より、専門的見地からご指導をいただきました。また、札幌工業高校と岩見沢農業高校の生徒同士で今後の研究内容や研究を進める上での課題の確認を行いました。工業及び農業のお互いの専門性をいかした課題解決の方法を協議することが出来、研究目標達成に一步前進することが出来ました。



2021/5/23(金)

「専門高校フューチャープロジェクト」活動中！

～今年も「元町会館前広場活用プロジェクト」始動しました～

「専門高校フューチャープロジェクト」の一環の「元町会館前広場活用プロジェクト」が今年度も始動しました。3年土木科の生徒が公益社団法人 日本技術士会北海道本部 社会活動委員会 技術者のミライ研究委員会の技術士の方より、これまでのプロジェクトの流れや、子どもから高齢者まで多世代の人々が集い、楽しみ、愛着がもてる「みんなの広場」作りのため、全体計画及び設計・施工に関わる技術的課題や積算方法についてご指導をいただきました。



2021/4/23(金)

「専門高校フューチャープロジェクト」活動中！

～情報化施工でグラウンド整備しました～

2年土木科が、地崎道路株式会社様より、「情報化施工を用いたグラウンド整備について」の先端技術講義及び技術指導をいただきました。

情報化施工について、本校 OB を含む熟練技術者の方々に、始めに教室で講義をいただき、その後グラウンドにて技術指導(測量～GNSS・トータルステーション、MC～マシンコントロール等)もいただきました。

生徒達は自校グラウンドにて、大規模な情報化施工を体験し、建設業に関わる先端技術について理解と関心を深めることが出来ました。施工完了後のグラウンドは、図面通りに、きれいに整備され安全・快適に使用することが出来るようになりました。

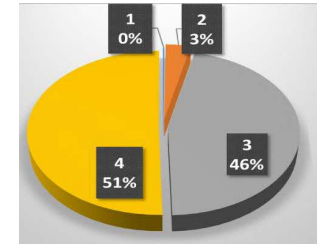
また、当日は授業公開日のため、保護者様の見学もあり、工業高校や建設業への理解を深めていただくことが出来ました。



「専門高校フューチャープロジェクト」 先端技術講義における評価について

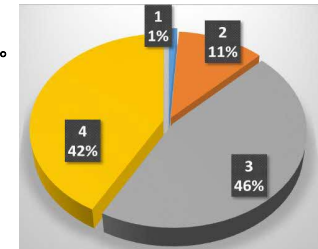
設問 1 実践的な学習活動を通して、工業又は農業に関する知識・技術を身に付けることができたか。
④とてもできた ③少しできた
②あまりできなかった ①全くできなかった

とてもできた、少しできたと回答する生徒が多く、企業・大学・地域社会等の連携を活かし、幅広く工業技術に触れる機会となった。



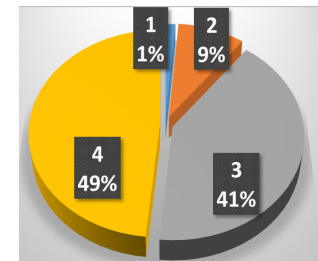
設問 2 未来技術や先端技術（スマート農業、AI、IoT、5G、航空宇宙など）について理解は深まったか。
④とても深まった ③少し深まった
②あまり深まらなかった ①全く深まらなかった

とても深まった、少し深まったと回答する生徒が多く、未来技術や先端技術について、知識や理解を深める機会となった。



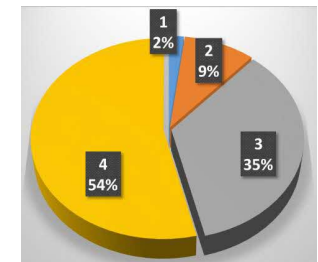
設問 3 再生可能エネルギーなど、SDG s（持続可能な開発目標）について理解は深まったか。
④とても深まった ③少し深まった
②あまり深まらなかった ①全く深まらなかった

とても深まった、少し深まったと回答する生徒が多く、特にSDG sについては、各講義において取扱が多く、内容や取り組みについて理解を深める機会となった。



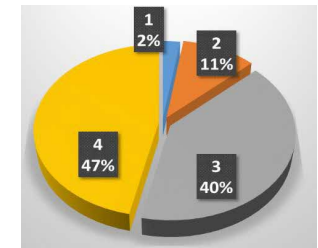
設問 4 学んだことを生かして、大学や企業等でより高度な専門性を身に付けたいと思ったか。
④とても思った ③少し思った
②あまり思わなかった ①全く思わなかった

とても思った、少し思ったと回答する生徒が多く特に地域社会を豊かにするために活躍する企業の取り組みや、それらを支えている高度な技術力等に触れ、自己のキャリアアップを考える機会となった。



設問 5 学んだことを生かして、将来は本道産業を支える人材になりたいと思ったか。
④とても思った ③少し思った
②あまり思わなかった ①全く思わなかった

とても思った、少し思ったと回答する生徒が多く自己のあり方生き方を考え自らの進路について深く考えることにつながった。

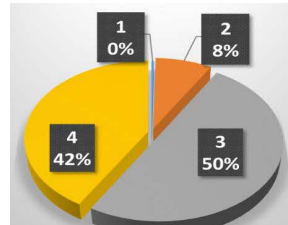


「専門高校フューチャープロジェクト」 セルフ・ブランディング・プログラム講義における評価について

設問1 実践的な学習活動を通して、工業又は農業に関する知識・技術を身に付けることができたか。

- ④とてもできた ③少しできた
②あまりできなかった ①全くできなかった

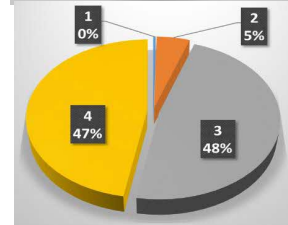
とてもできた、少しできたと回答する生徒が多く、世界で活躍する企業の取り組みから、幅広く工業・農業技術に触れる機会となった。



設問2 未来技術や先端技術（スマート農業、AI、IoT、5G、航空宇宙など）について理解は深まったか。

- ④とても深まった ③少し深まった
②あまり深まらなかった ①全く深まらなかった

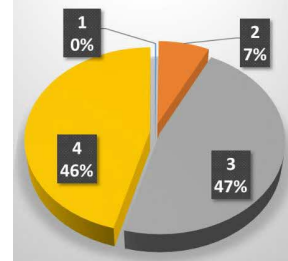
とても深まった、少し深まったと回答する生徒が多く、未来・先端技術に対応できる資質や能力の取得に向けて、必要な専門性やスキルを知る機会となった。



設問3 再生可能エネルギーなど、SDGs（持続可能な開発目標）について理解は深まったか。

- ④とても深まった ③少し深まった
②あまり深まらなかった ①全く深まらなかった

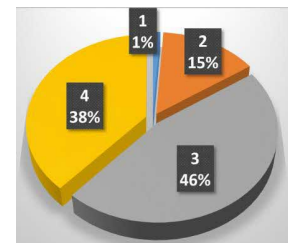
とても深まった、少し深まったと回答する生徒が多く、特に、トヨタ自動車のSDGsへの取り組みや、先進的な事業事例から学ぶことができた。



設問4 学んだことを生かして、大学や企業等でより高度な専門性を身に付けたいと思ったか。

- ④とても思った ③少し思った
②あまり思わなかった ①全く思わなかった

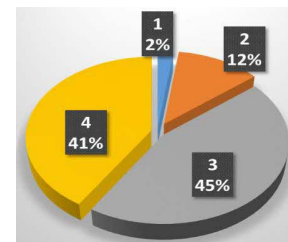
とても思った、少し思ったと回答する生徒が多く特に、地域社会を豊かにするために活躍する企業の取り組みや、それらを支えている高度な技術力大学などの研究の一端に触れ考えが深まった。



設問5 学んだことを生かして、将来は本道産業を支える人材になりたいと思ったか。

- ④とても思った ③少し思った
②あまり思わなかった ①全く思わなかった

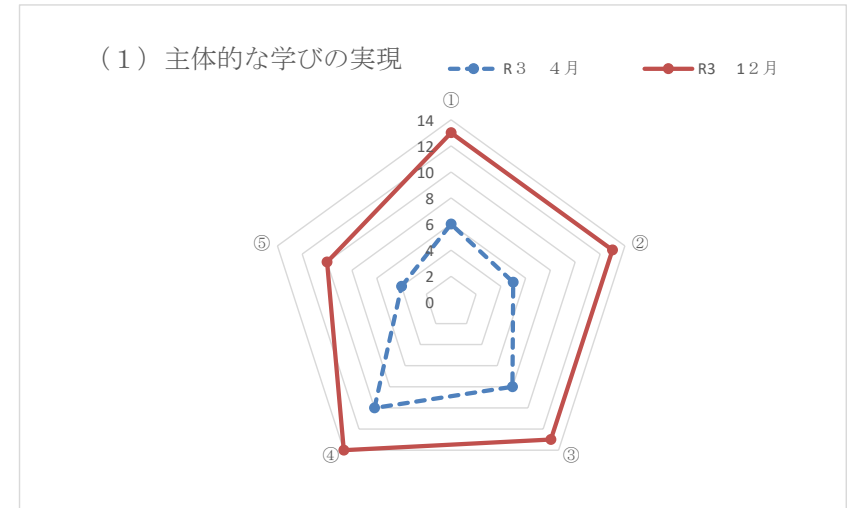
とても思った・少し思ったと回答する生徒が多くセルフ・ブランディング・プログラム講義が、自己のあり方生き方を考え、自分自身の強み（ブランド）について、深く考えることにつながった。



企業とのコラボレーション企画における評価について

(1) 主体的な学びの実現

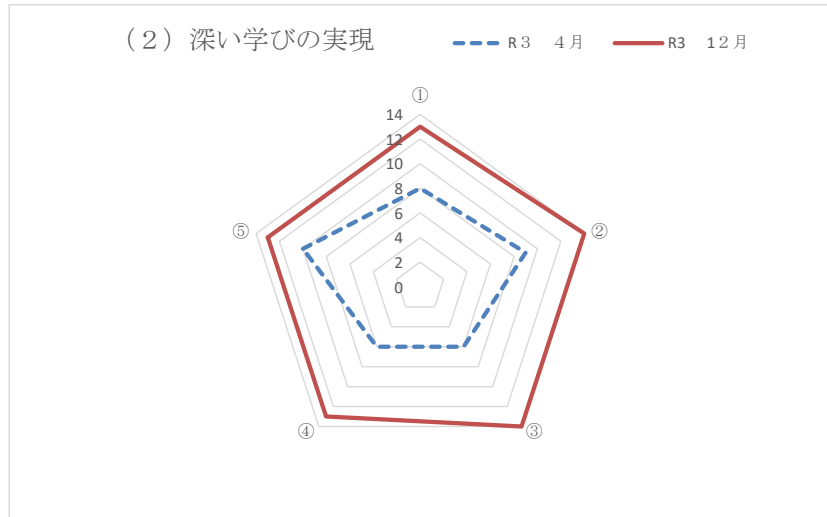
- ①取組の内容をまとめることができた。
- ②課題を発見した時、自ら解決したり明らかにしたいと以前よりも思うようになった。
- ③期限や時間を考慮して進めることができた。
- ④学んだ手応えを感じる事ができた。
- ⑤活動内容を自己の進路につなげて行うことができた。



コラボレーション企画の開始前と開始後では、そう思う・まあそう思うと回答する生徒が増加した。地域社会が抱えている課題の解決に向け、自ら学んだ知識や、企業からの先端技術や高度な技能を織り交ぜ協働する中で、工業の発展や社会貢献に対して、主体的・協働的に取り組む姿勢を身に付けることができた。

(2) 深い学びの実現

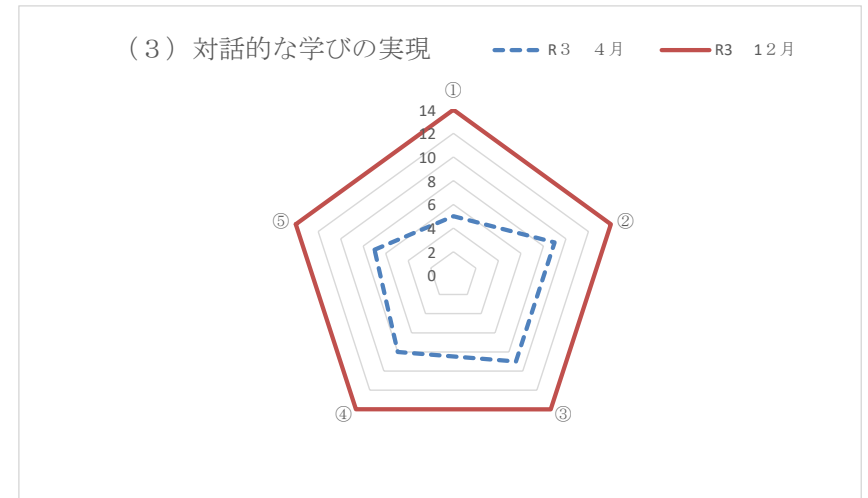
- ①教科に限定されない幅広い分野の知識や技術を学ぶことができた。
- ②何かについて深く考え答えを探し出すことができた。
- ③解決すべき課題を自ら考え設定することができた。
- ④課題解決に向けて何が必要か自ら考え判断することができた。
- ⑤学んだり考えたりする方法を新たに身につけることができた。



コラボレーション企画の開始前と開始後では、そう思う・まあそう思うと回答する生徒が増加した。このことから、コラボレーション企画に必要な事柄を実践的な経験から学ぶ取り組みから、解決すべき課題を自ら設定し、企業と協働する中で、教科に限定されない幅広い知識や技術から何が必要か自ら考え判断できるものづくりスキルを身につけることができた。

(3) 対話的学びの実現

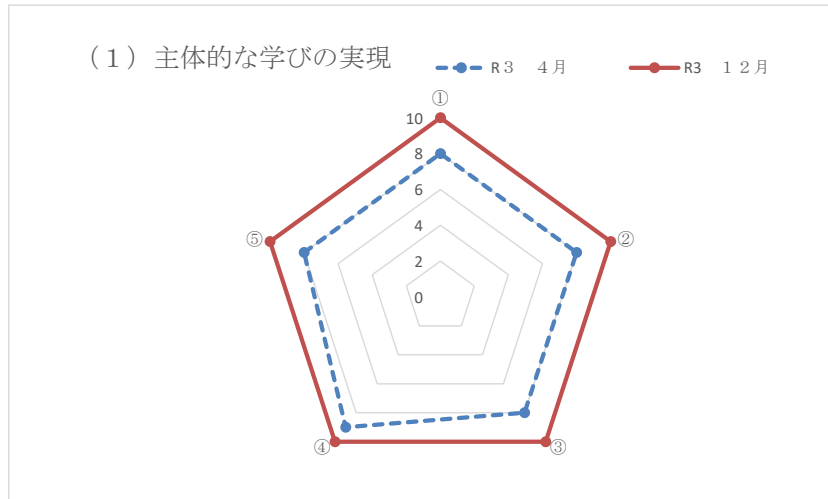
- ①多様な資料や情報の収集・整理ができた。
- ②相手に伝わるように資料等をまとめることができた。
- ③一人悩まずお互いの考えを議論することの大切さを以前より感じるようになった。
- ④課題を解決するために他者と協働することの大切さを以前よりも感じるようになった。
- ⑤学んだ知識を実際の体験的な学習と関連づけて身につけることができた。



プロジェクトの開始前と開始後では、そう思う・まあそう思うと回答する生徒が増加した。一人で考えるのではなく、他者のものの見方や考え方を理解し、他者と協働しながら課題の解決へ向けて取り組みを進める中で、自分の考えが相手に伝わるようにまとめる力や、表現する力の向上につながった。

(1) 主体的な学びの実現

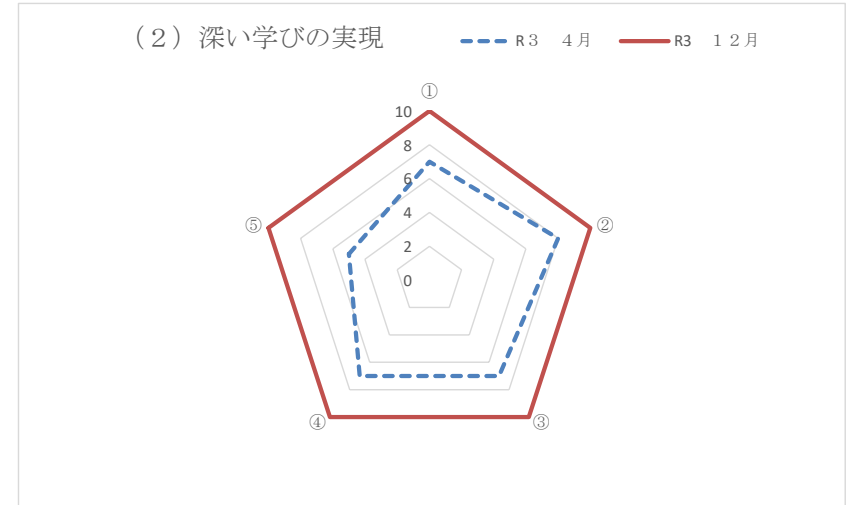
- ①取組の内容をまとめることができた。
- ②課題を発見した時、自ら解決したり明らかにしたいと以前よりも思うようになった。
- ③期限や時間を考慮して進めることができた。
- ④学んだ手応えを感じる事ができた。
- ⑤活動内容を自己の進路につなげて行なうことができた。



コラボレーション企画の開始前と開始後では、そう思う・まあそう思うと回答する生徒が増加した。このことから、岩見沢農業高校と連携し、農業分野において地域が抱えている課題の解決に向け、工業とは異なる先端技術や高度な技能について理解を深め、実証実験を進める中で、これまでに無い「学びへの手応え」や「やりがい」を感じた生徒が多く、その事が、自己の在り方生き方を考え、自らの進路について深く考えることにつながった。

(2) 深い学びの実現

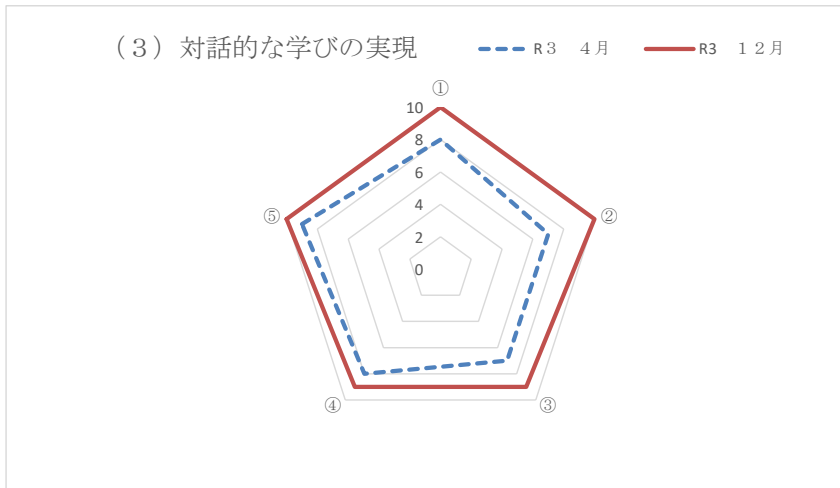
- ①教科に限定されない幅広い分野の知識や技術を学ぶことができた。
- ②何かについて深く考え答えを探し出すことができた。
- ③解決すべき課題を自ら考え設定することができた。



コラボレーション企画の開始前と開始後では、そう思う・まあそう思うと回答する生徒が全体的に増加した。コラボレーション企画に必要な事柄を実践的な経験から学ぶ取り組みから、解決すべき課題を自ら設定し、協働する中で、農業高校の生徒の見方考え方を理解し、教科に限定されない幅広い知識や技術から、何が必要か自ら考え判断できるものづくりスキルを身につけることができた。

(3) 対話的学びの実現

- ①多様な資料や情報の収集・整理ができた。
- ②相手に伝わるように資料等をまとめることができた。
- ③一人悩まずお互いの考えを議論することの大切さを以前より感じるようになった。
- ④課題を解決するために他者と協働することの大切さを以前よりも感じるようになった。
- ⑤学んだ知識を実際の体験的な学習と関連づけて身につけることができた。



プロジェクトの開始前と開始後では、そう思う・まあそう思うと回答する生徒が増加した。一人で考えるのではなく、他者のものの見方や考え方を理解し、他者と協働しながら課題の解決へ向けて取り組みを進める中で、自分のものの見方や考え方が、相手に理解しやすいようにまとめる力や、表現する力の向上につながった。

・主な報道関係掲載日一覧

北海道通信	令和3年	6月3日	(木)
北海道通信	令和3年	6月16日	(水)
北海道建設新聞	令和3年	6月21日	(月)
北海道通信	令和3年	6月22日	(火)
北海道建設新聞	令和3年	7月20日	(火)
北海道通信	令和3年	7月21日	(水)
北海道通信	令和3年	7月26日	(月)
北海道通信	令和3年	7月29日	(木)
北海道通信	令和3年	10月19日	(火)
北海道通信	令和3年	10月25日	(月)
北海道通信	令和3年	11月8日	(月)
北海道通信	令和4年	1月6日	(木)